

いきいき子ども！
あたたか家族！
はつらつ先生！
地域が支える
教育の板橋

教育の板橋

学び合う、
学び続ける
人づくり！
地域を創る
教育の板橋

教職員の心身の健康保持と、質の高い教育活動の実現をめざして 教職員の働き方改革を推進しています！

令和4年2月に策定した「板橋区立学校における働き方改革推進プラン」に基づき、様々な取組を進めています。保護者や地域のみなさんのご理解と、ご支援をお願いします。

問合 教育総務課学校職員係 ☎3579-2606

なぜ教職員の働き方改革が必要なのか？

子どもたちに効果的な教育活動を行うためには、教職員が健康で生き生きと働くことが大切です。子どもたちと向き合うための時間や、授業の質の向上を図るために教職員が学ぶ時間を十分に確保することができるよう学校や教職員の役割や働き方を見直し、教職員の長時間勤務を改善していくことが求められています。

具体的には、業務改善を通じた教職員の時間外在校等時間の削減を行うことにより、教職員が学ぶ時間や子どもと向き合う時間の確保につながります。その時間を授業改善をはじめとした教育の質の向上に充て、子どもにとってより良い教育を実現します。これにより、教職員にとっての働きがいも向上し、さらなる業務改善・授業改善に向けた取組が推進されることなどの相乗効果を狙います。子どもたちに質の高い教育活動を行えるようにするため、学校における働き方改革の推進が必須となります。



在校等時間：教員には「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」に基づき、時間外勤務手当等は支給されていないため、民間企業等での残業時間という考えがありません。そのため、これに代わるものとして在校等時間という言葉を用いています。

在校等時間には、教員等が校内に在籍している時間のほか、校外での勤務の時間(職務として行う研修への参加や児童生徒等の引率)が在校等時間に含まれ、時間外在校等時間は、1日の在校等時間から所定の勤務時間を除いた時間のことです。

教職員の働き方改革の目標

働き方改革推進プランでは教職員の働き方改革に資する取組を効果的に進めていくことにより、月あたりの時間外在校等時間が45時間を超える教職員の割合をゼロにすることをめざしています。

●令和5年度における教職員の月当たり時間外在校等時間の状況(単位：%)

	45時間未満	45時間以上	80時間以上	100時間以上
小学校	82.0	16.4	1.3	0.3
中学校	73.8	21.8	3.1	1.3

目標：時間外在校等時間が45時間を超える教職員の割合をゼロに！

これまでの業務改善をはじめとした主な取組

副校長補佐の拡充

多忙な副校長の業務をサポートする人材として、令和4年度から副校長の仕事に補佐する人材を区立小中学校に配置しています。令和4年度においては10校配置していましたが、令和5年度には、副校長補佐の配置を36校まで拡充しています。



出退勤管理システムの運用開始

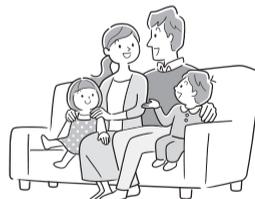
教職員の出勤簿、休暇簿等紙の帳票を用いた煩雑な勤怠管理等の事務処理を改善するため、デジタル化による業務の効率化を図りました。

また、ICTを学校現場の事務処理にも活用することで、教職員を支える環境を整備し、教育の質の向上につなげます。



学校完全休校日の設定

夏季休業期間中に最低3日以上以上の学校完全休校日を設定することで、教職員の休暇取得を促進し、心身ともにリフレッシュできる機会の一助としています。



業務改善モデル校の取組

業務改善モデル校を選定し、教育委員会事務局職員がモデル校と一体となって業務改善を検討していくことにより、現場の実態に即した業務改善の手法を学校とともに見出していきます。



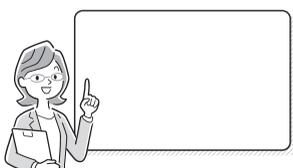
スクール・サポート・スタッフの全校配置

教職員に代わって、学習プリントの印刷・配布準備や授業・行事準備の補助、掲示物の張り替えなどを行う人材としてスクール・サポート・スタッフを全校へ配置しています。



教育委員会事務局職員への研修の実施

教育委員会事務局職員を対象に、働き方改革の研修を実施することにより、職員の意識改革の取組を実施します。また事務局内で、働き方改革に関する取組事例を共有することで業務改善を図ります。



定時退勤日の設定

定時退勤日及び日々の最終退勤時間を設定することにより、勤務時間を意識した働き方を行い、時間内労働にむけた職場環境を整備しています。

〔教職員の標準的な勤務時間〕
例：8時15分～16時45分



校内目標の設定

全校が働き方改革に関する具体的な数値目標を設定し、定めた目標に向かって取組を推進することで、学校や教職員がモチベーションを高めることを目的としています。



区文化財に関するお知らせ

東京都教育委員会において、令和6年3月25日に板橋区指定無形民俗文化財とされていた里神楽(保持団体：相模流萩原由郎社中)が都指定無形民俗文化財となりました。また、区教育委員会では、3月27日に新たに2件の文化財の登録を決定し、告示しました。これにより、区の登録文化財は192件(うち指定文化財34件)になりました。

新規都指定文化財

- ・相模流里神楽(萩原由郎社中)【無形民俗文化財(民俗芸能)】

新規区登録文化財

- ・中台延命寺所蔵「大般若釈迦十六善神図」及び「釈迦涅槃図」【有形文化財(絵画・歴史資料)】
- ・べっ甲細工(岡 匡巳)【無形文化財(工芸技術)】

相模流里神楽(萩原由郎社中)



問 合 生涯学習課文化財係 ☎3579 - 2636

中台延命寺所蔵「大般若釈迦十六善神図」及び「釈迦涅槃図」



べっ甲細工



区立高島幼稚園で2歳児預かりをはじめました ～『ぺんぎんぐみ』に遊びに来ませんか?～

2歳児の預かりとは・・・

保護者の就労等の有無にかかわらず、保育園・幼稚園等を利用していない2歳児を定期的に預かり、多様な他者との関わりの中での様々な体験や経験を通じて、非認知能力の向上、他者と関わる有益な機会を確保する等、子どもの健やかな成長を図ります。幼児と保護者にとって、安心・安全に利用できる環境を提供し、子どもの居場所作りをします。

■日時

保育がある日の火曜日・金曜日 9時30分～11時30分
行事が重なる場合は、お休みすることがあります。

■場所

区立高島幼稚園
(高島平2-18-1)



高島幼稚園



■対象年齢

満2歳

■保育料

無料

■定員

10名(事前申込制)

■保育の内容

- ・お子さんが興味をもった遊具で遊びながら過ごします(人形・ぬいぐるみ・おままごと・ぬり絵・ブロック・すべり台等)
- ・基本的には室内で遊びます。

■申し込み方法

高島幼稚園までお問合せください。

電話 3934 - 5848



高島幼稚園HP



区HP

※区内私立幼稚園の一部でも実施しています。

問 合 学務課幼稚園係 ☎3579 - 2613

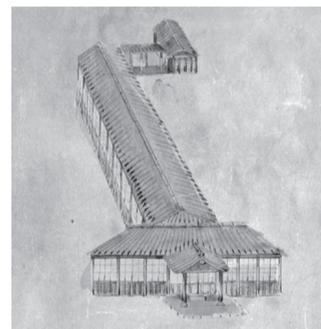
記念展・コレクション展のお知らせ ～区内最古の小学校が150周年を迎えます～

■会場：板橋区立郷土資料館(赤塚5-35-25)

※月曜休館(ただし祝日の場合は開館し、翌日休館)
開館時間：9時30分～17時00分(入館は16時30分まで)

紅梅小学校創立150周年記念展 そのかぐわしき名をあげよ～徳丸村の学び舎から～

紅梅小学校は明治7年(1874)に安楽寺(徳丸8-9-1)内に設立され、同年7月19日付で私立学校として認可され、翌8月25日に「第四番中学区第五番小学 紅梅学校」として公立学校の認可を受けました。紅梅小学校校史資料(区登録文化財)をはじめとして、徳丸地域の旧家で守られてきた資料とともに、紅梅の名のもとに育まれてきた学び舎のあゆみを紹介します。



紅梅小学校
明治22年建築の校舎「学校沿革図会」
紅梅小学校所蔵

■展示期間：令和6年9月16日(月・祝)まで

コレクション展 板橋第一小学校創立150周年記念～板橋の地に健児あり～

板橋第一小学校は、紅梅小学校よりひと足早く、明治7年(1874)7月頃に乗蓮寺の塔頭(脇寺)であった香林庵(仲町44、現在は専称院がある)に「第四番中学区第四番小学 板橋学校」として開校しました。館蔵の卒業アルバム等から、各時代の学び舎の姿を紹介します。



板橋第一小学校
大正時代の校舎「大正十年三月卒業記念」

■展示期間：令和6年10月14日(月・祝)まで

問 合 郷土資料館 ☎5998 - 0081

教育広報への意見を募集します

より良い広報紙作成のため、みなさんからのご意見・ご提案を募集します。

▽提出方法＝郵送・FAX・Eメール ▽問合＝教育総務課庶務係(〒173-8501)
☎3579 - 2603 ☎3579 - 4214 ✉kyosho@city.itabashi.tokyo.jp

新しい教育長と教育委員を紹介します



【教育長】 ながぬま ゆたか 長沼 豊

任期：令和6年7月1日から
令和9年6月30日まで

板橋区教育委員会教育長として着任しました長沼豊と申します。

これまで私立中学校の教員を13年、私立大学の教員を23年、私立中学校の校長を2年勤め、さまざまな教育活動と教育研究に関わってきました。

板橋区教育委員会には、平成27年からこれまでに、板橋区教育ビジョン2025策定委員会委員や小中一貫教育推進委員会(キャリア教育部会)など、さまざまな活動に助言者等として関わってきました。また、令和元年7月13日から令和6年6月30日までの約5年間は教育委員を務めました。

私が約40年間教育界で培ってきた知識、技能、人脈等をフルに活用して、板橋区の教育のためにお役に立つことができよう尽力していきます。



【教育委員】 よしもと ひさこ 善本 久子

任期：令和6年7月1日から
令和9年7月12日まで

新たに板橋区教育委員会教育委員を拝命しました善本久子です。

私は都立高校で国語教師としてのキャリアをスタートし、新しい総合学科高校の開設準備に携わり、東京都教育委員会勤務を経て、都立中高一貫校の校長として、コロナ禍におけるハイブリッド型オンライン授業を公立としていち早く推進するなど、常に新しい挑戦に取り組んできました。

板橋区とのご縁は、青少年問題協議会の委員として勉強させていただいたのが始まりです。板橋区は地域と学校との絆が強く、地域を挙げて子どもを育てていく姿勢を頼もしく感じています。

これから、教育委員会の皆様と力を合わせて、「教育の板橋」を新たなステージへと進化させるべく尽力する所存です。

問 合

教育総務課庶務係 ☎3579 - 2603

板橋区コミュニティ・スクール(iCS) ~iCSとは? iCSの取組について~

■板橋区コミュニティ・スクール(iCS)について

iCSは、コミュニティ・スクール委員会(CS委員会)と学校支援地域本部を両輪・協働の関係で運営し、教育活動を支援する仕組みで、令和2年度より区内区立全小中学校で導入しています。

iCSの仕組みを活用し、様々な取組を学校・家庭・地域が一体となって行うことにより、「子どもたちのより豊かな学びの実現」や「先生が子どもたちに向き合う時間や授業づくりのための時間の確保」などにつなげ、「地域とともにある学校(※)」をめざします。

(※)学校が地域の方と目標やビジョンを共有し、地域一体となって子どもたちを育む学校のことを言います。「地域の子は地域で育てる」ことで、子どもたちの明るく、元気で前向きな成長へつなげることが期待できます。

■赤塚第三中学校のCS委員会の様子を紹介

赤塚第三中学校では、昨年度のCS委員会に生徒会役員が参加し、「地域へのボランティア」について熟議をしました。その中で「町会の盆踊りの踊り手が足りない」という地域課題が話題となりました。今年度、CS委員会と生徒会役員が中心となって中学生に盆踊

りを知ってもらうため、町会の方が学校で踊りを教えるのはどうかということになり、放課後に練習会を開催し、希望する生徒が参加することになりました。

練習会前の7月2日に開催されたCS委員会では、生徒会役員5名を交えた熟議が行われました。熟議では2つのグループに分かれ、「盆踊りの踊り手ボランティアについて」と「地域と協力できること、学校が協力してもらいたいこと」についてそれぞれ話し合いました。

委員からは「子どもたちの前向きな話を直接聞いてよかった。子どもたちと向き合いながら、少しずつだが見えてきた」「中学生と地域と一緒にやることで、お互いに刺激になる」といった意見が出ました。

練習会は2回開催され、「板橋音頭」や赤塚地域の踊り「赤塚よいとこ」など5曲を町会の方が教えてくれました。参加した生徒は「子どもたちのころに盆踊りに行ったことはあるけれど、踊ったのは初めて」「踊りを覚えていくことが楽しかった」と、とても楽しんでいました。CS委員は「地域の盆踊りを知ってもらえたことがよかった。これをきっかけ

に子どもたちが盆踊りに来て、楽しかったよ、と他の子たちに口コミで広がれば…」と、盆踊りをきっかけに中学生と地域がつながっていくことを期待しています。

■iCSフォーラムを開催しました

7月22日(月)にiCSフォーラムが開催されました。

対面とオンラインのハイブリッド開催で、

130名以上の方にご参加いただきました。

香月よう子氏((一社)共創プロジェクト代表理事)と白鳥円啓氏(統括コーディネーター)による対談方式の講義「iCS導入から4年～自分と学校の現在地～」が、グループワークが行われ、学校と地域がそれぞれの考えや役割について再確認する機会となりました。参加者のアンケートでは「委員長との事前打合せが重要であることに気が付いた。今回の講義での学びを自校のCS委員会で活かしていきたい」などの声がありました。

※iCSフォーラムは、12月31日までアーカイブ配信を見ることができます。ぜひご覧ください。



iCSフォーラムの様子



赤塚第三中学校 盆踊りの練習



問 合

地域教育力推進課地域連携係 ☎3579 - 2619

教育に関する
広報紙

教育広報「教育の板橋」は1・4・9月に発行しております。また、奇数月には、「いたばし教育チャンネル」を発行し、教育委員会が行っている事業等について情報発信しております。区ホームページでご覧いただけます。

教育広報

いたばし
教育チャンネル▽問合せ=教育総務課庶務係
☎3579 - 2603